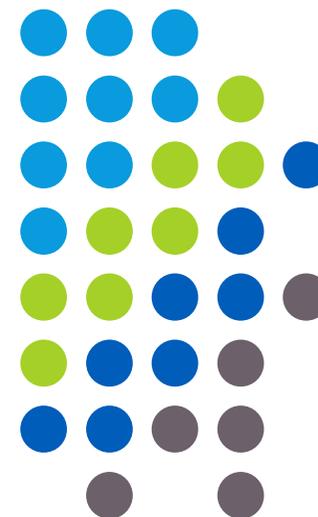


『子どもの貧困について考える』

令和4年4月28日

阿部 彩

東京都立大学 人文社会学部 教授 兼
子ども・若者貧困研究センター センター長



憲法25条

- 1項「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」
- 2項「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」

あなたは、どれくらいの生活を健康で文化的な最低限度の生活とと思いますか？



出所：日本ユニセフ協会

日本人が思い浮かぶ

「貧困」のイメージ：

- 発展途上国の底辺層
- 戦後の日本
- 難民
- などなど



以下はどうでしょう？



- ホームレスの人
- 給食費が払えない家庭の小学生
- 九九ができない中学生
- 自分の生活費のためにアルバイトをする高校生
- 「おかわりしていいよ」と子どもに言えない母親
- ぜんそくなのに、医療機関に行っても薬をもらうことができない中学生
- 家で肉や果物を食べられない子ども
- サッカーシューズが欲しいと親に言えなくて、部活をあきらめる高校生



絶対的貧困と相対的貧困

絶対的貧困

人々が生活するために必要なものは、食料や医療など、その社会全体の生活レベルに関係なく決められるものである

相対的貧困

人々がある社会の中で生活するためには、その社会の「通常」のレベルから一定距離以内の生活レベルが必要。

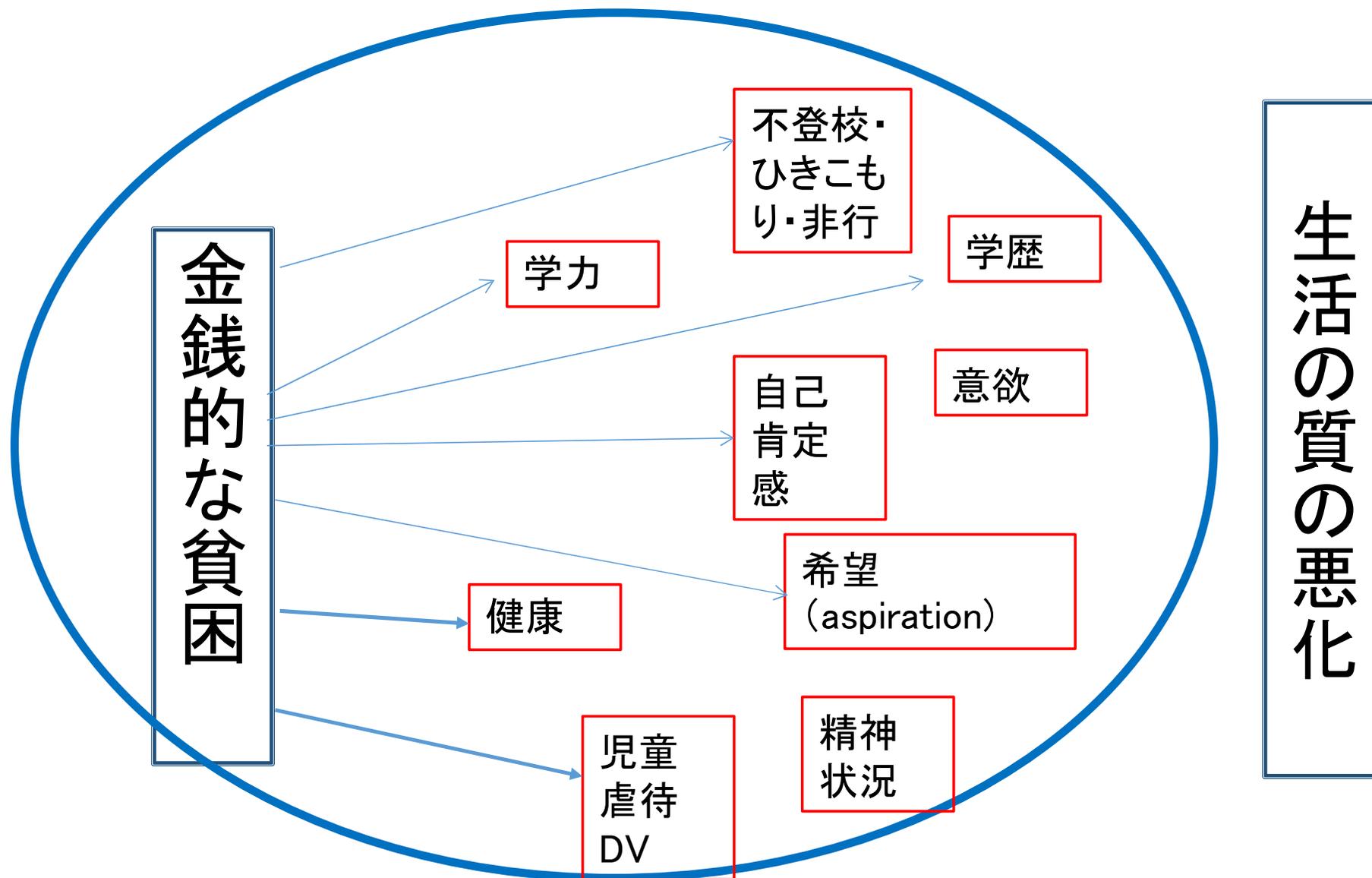


「相対的貧困」の意味するところ

- Townsend(1979) “**decent** life(まっとうな生活)”
をおくれない状態
- Sen(1987) “**shame**(恥)ない生活” “decent
life with dignity(尊厳を持ったまっとうな生活)”



家庭の経済（貧困）状況と、その他の次元の各指標には関連がある



貧困から社会的排除へ

経済的困難・金銭の不足

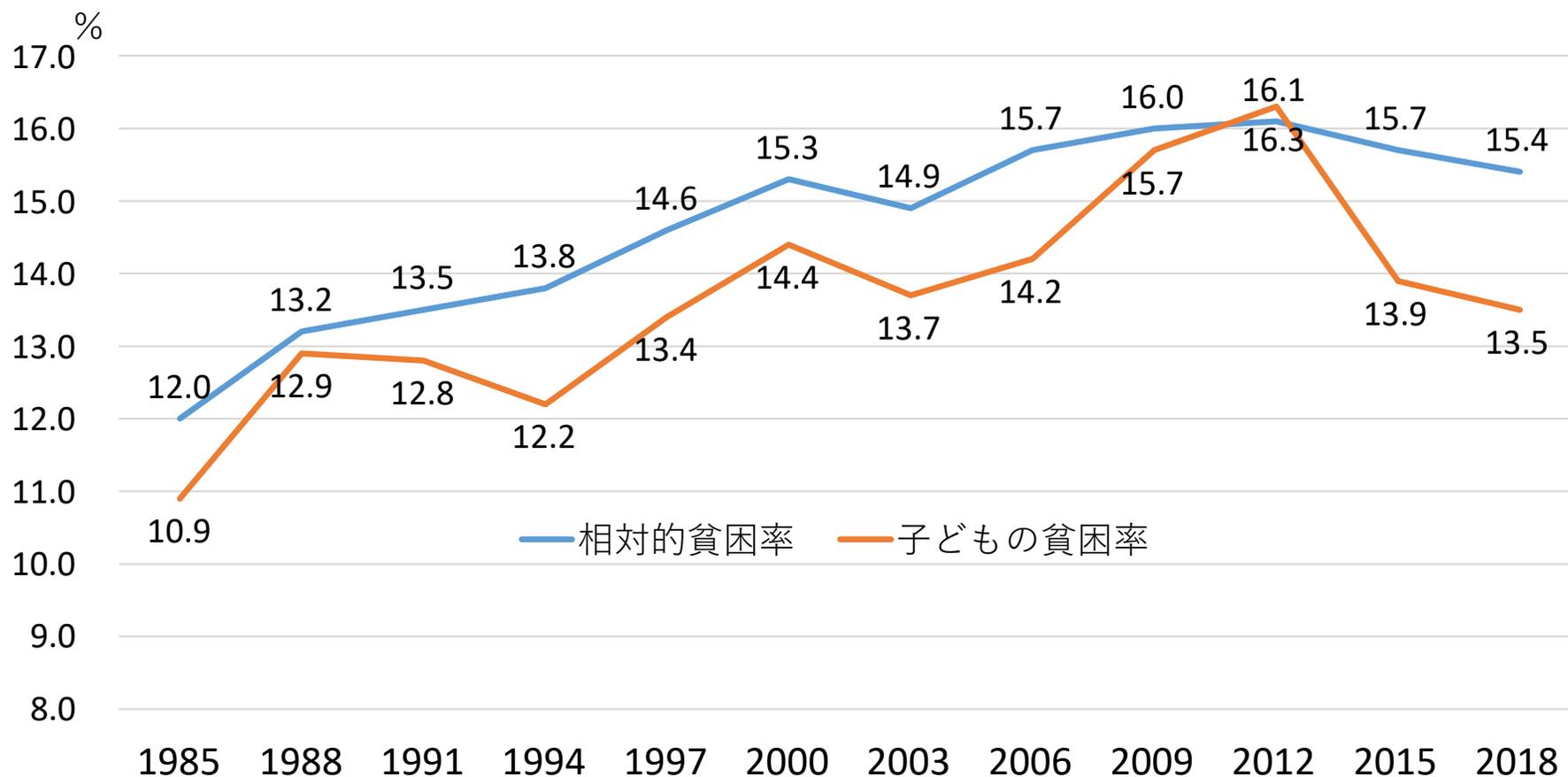
物的資源の欠如
食生活・健康への影響
学力の低下
体力の低下
家庭内のストレス など

自己肯定感の低下
人間関係の劣化
社会システムからの脱落
精神的ダメージ

社会的排除
(Social Exclusion)

日本の相対的貧困率（厚労省の公式発表）

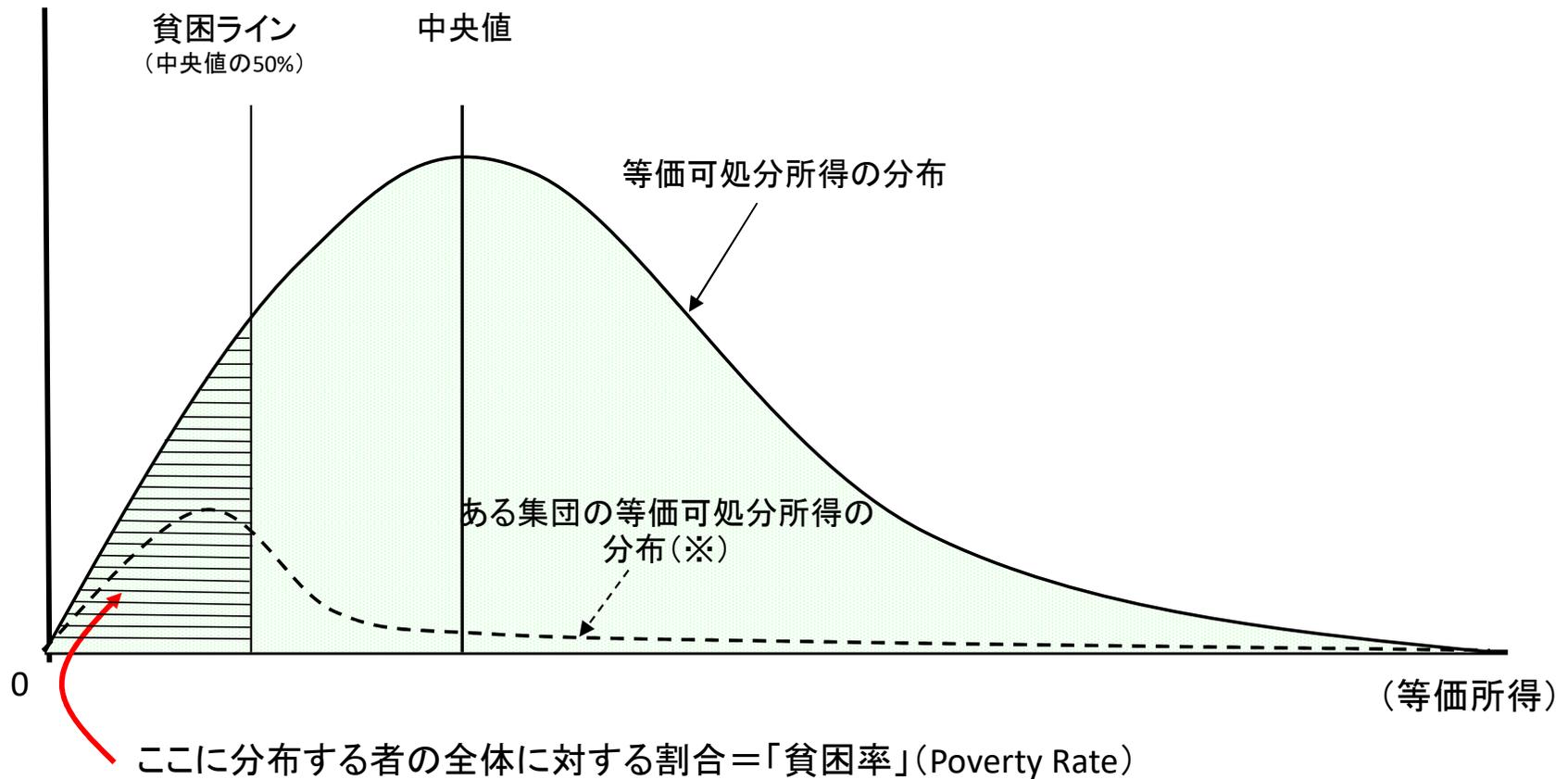
相対的貧困率の推移：1985-2018



このグラフは、厚生労働省が『国民生活基礎調査』の大調査年（3年毎）のデータを用いて相対的貧困率を公表しているものです。本報告においては、同じデータを用いて、より詳細な属性（年齢、性別等）別の相対的貧困率を見ていきます。

出所：厚生労働省（2020）『2019年国民生活基礎調査 結果の概況』

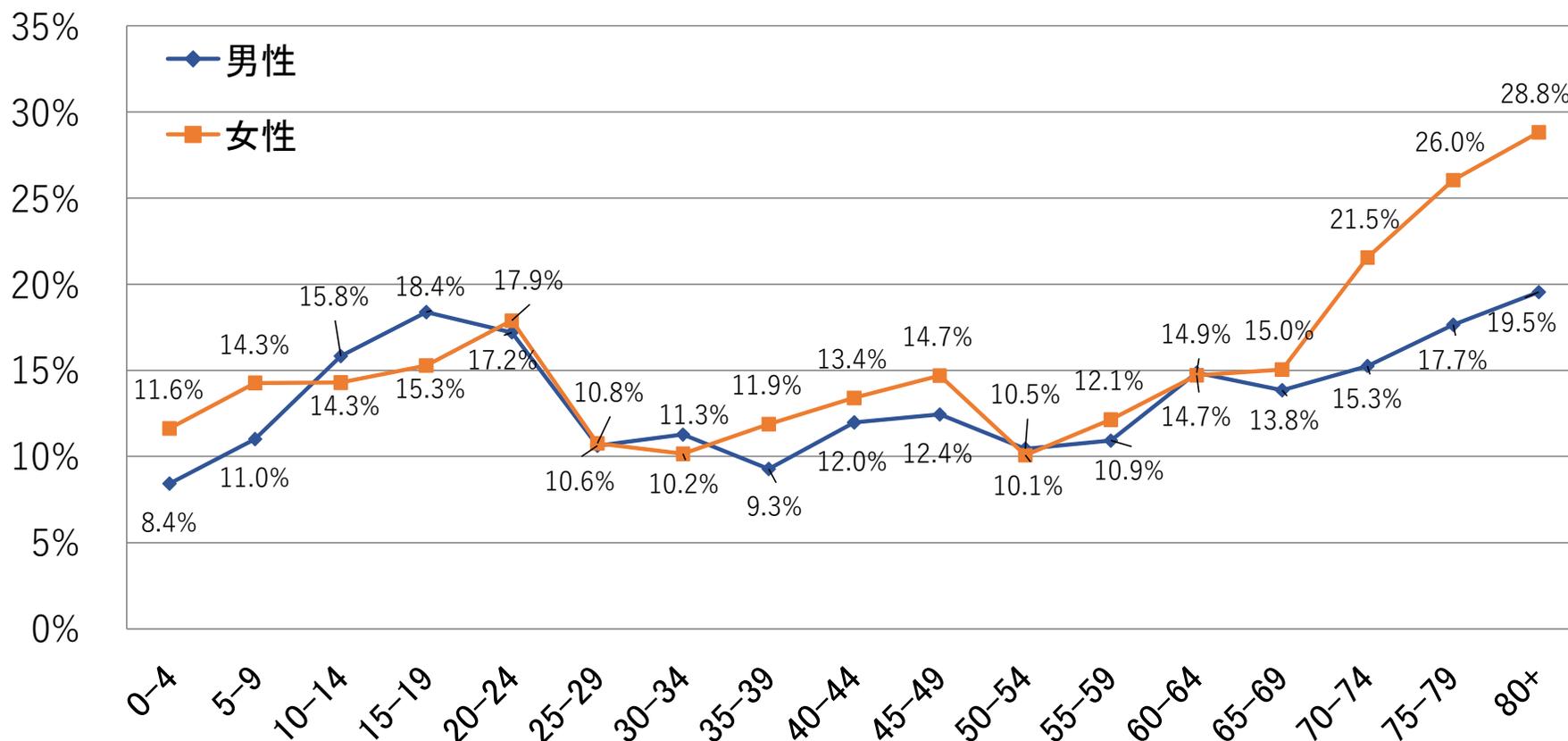
相対的貧困率の推計方法



※ 特定の集団(例えば17歳未満、高齢者etc.)の貧困率は、その特定の集団の構成員のうち、貧困ライン(集団にかかわらず一定)を下回る構成員の割合として求められる。(例えば、イメージ図の破線で示される所得分布の集団の貧困率は、社会全体の貧困率よりも高いということになる。)

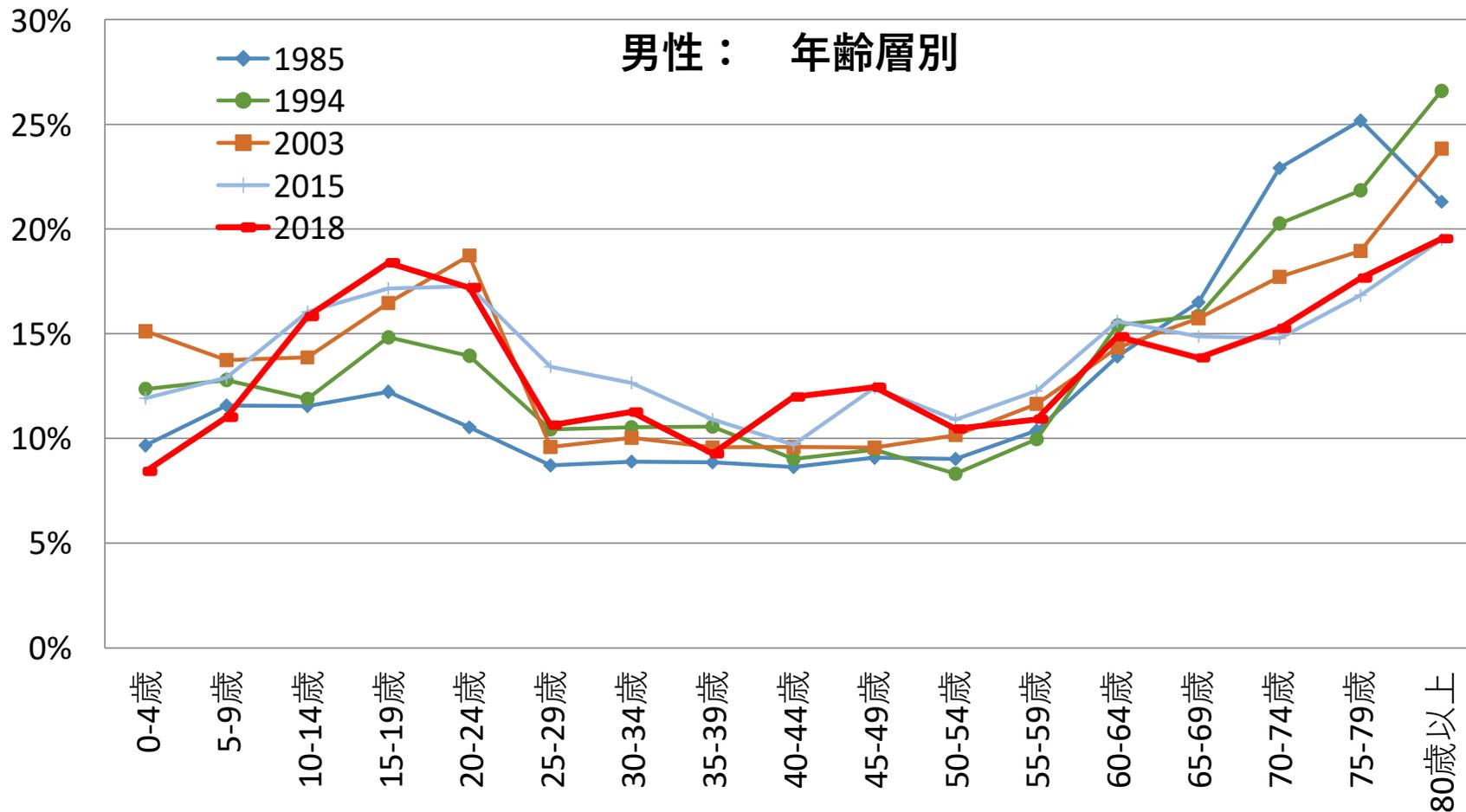
年齢層別・性別の相対的貧困率（2018年）

相対的貧困率(2018)



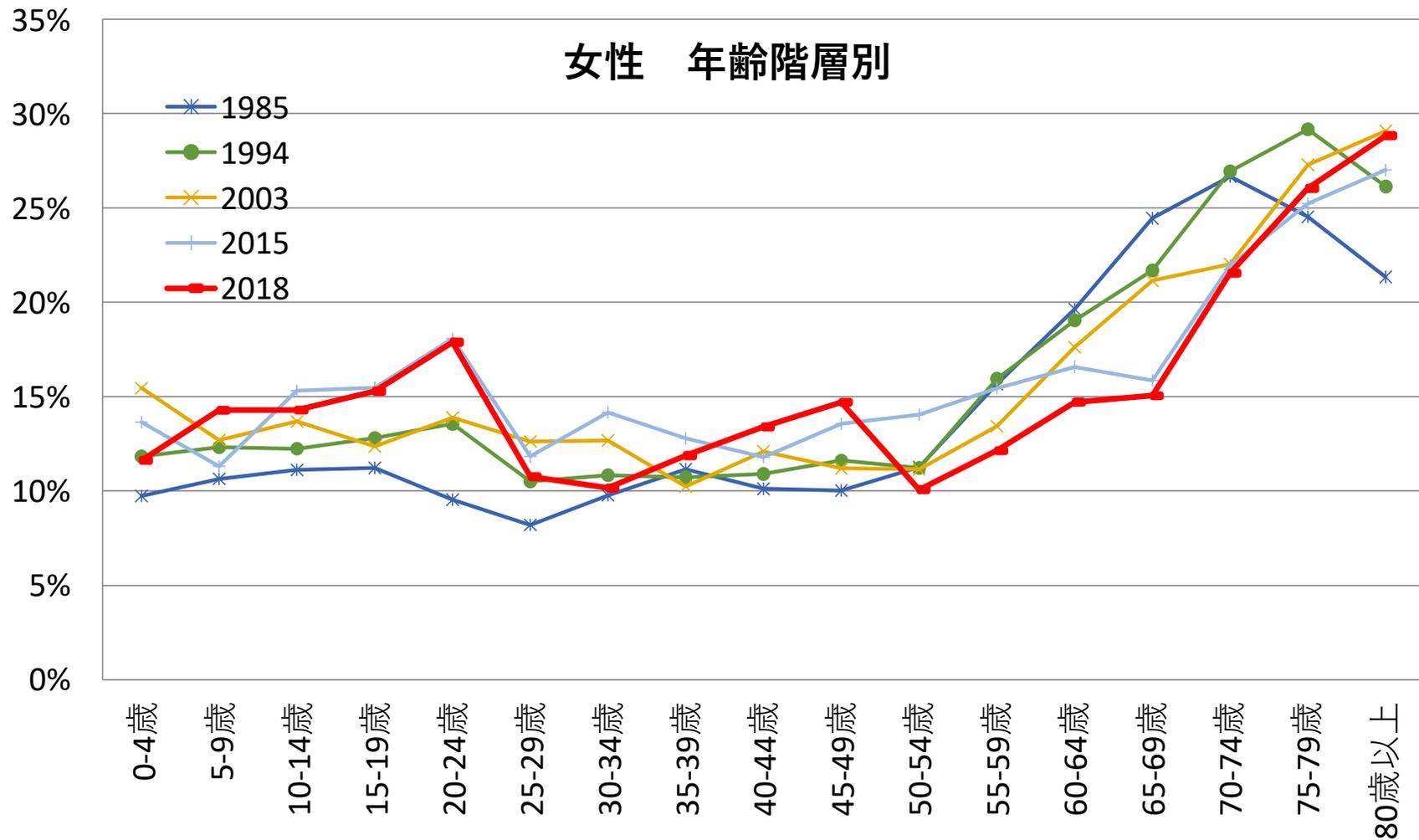
- 子ども期においては、年齢の高い層の方が貧困率が高い。

男性の年齢階層別の貧困率の推移： 1985年から2018年の動き



- 1985年から2018年の30年間にて、高齢期の貧困率は改善、若者・子どもの貧困率が上昇。

女性の年齢階層別の貧困率の推移： 1985年から2018年の動き

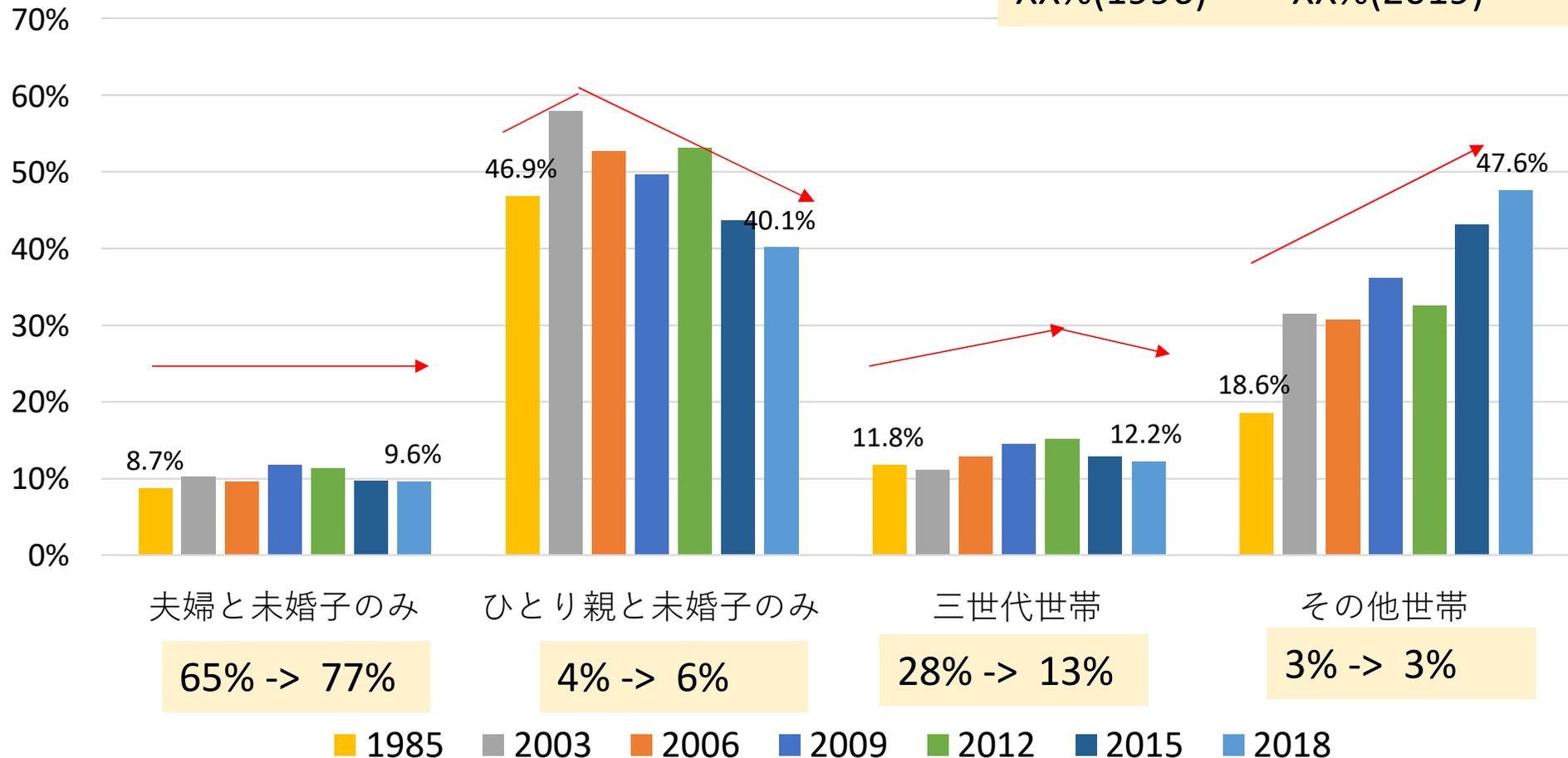


- しかし、女性については高齢期の改善がさほど見られない。

子どもの貧困率：1985年から2018年

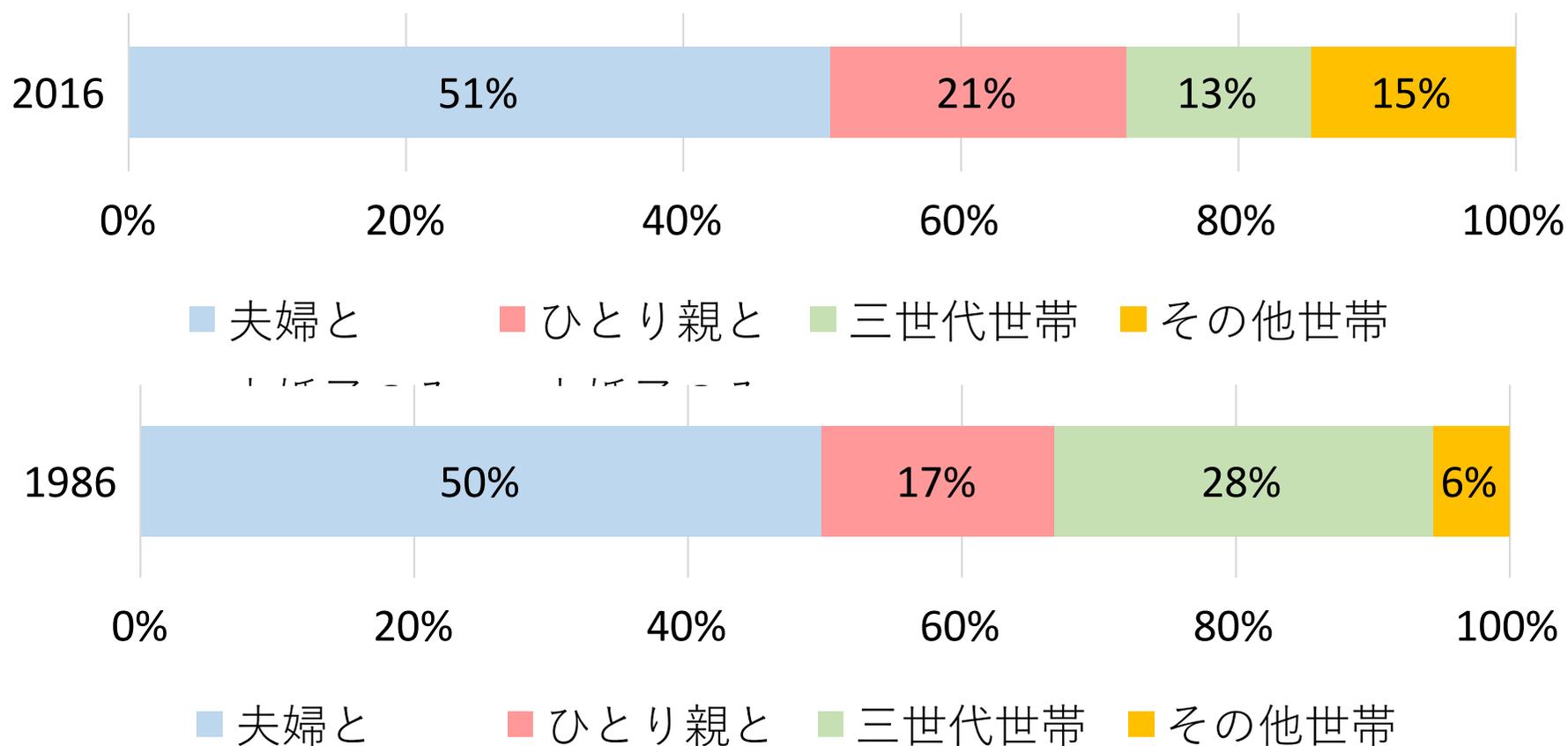
20歳未満（男女）

子ども総数に占めるシェア
XX%(1996) ⇒ XX%(2019)



- 貧困率は「夫婦と未婚子」では微増。「ひとり親と未婚子」では2000年代をピークに減少。しかし、まだ高い。三世帯世帯は微増。
- その他世帯は子ども総数の3%しか占めないが急増。

貧困の子ども（20歳未満）の世帯タイプ



- 貧困の子どもの、最も多い世帯タイプは「夫婦と未婚子のみ」世帯。
- 1985年との違いは三世代世帯の縮小とその他世帯の拡大

貧困の層 子どもの貧困

「見えやすい貧困」と「見えにくい貧困」

生活保護受給世帯の育つ子ども数（20歳未満）

$1.24\% \times 2200\text{万人} = 27.3\text{万人}$
（平成27年値）

児童養護施設 在籍児童数 約3万人

貧困状況にある子ども数（0~17歳）
 $= 13.9\% \times \text{約}1957\text{万人}$
 $= \text{約}272\text{万人}$

子ども数（0~19歳）
 $= \text{約}2200\text{万人}$

- 川上対策か、川下対策か？
- 地域別
- 年齢別

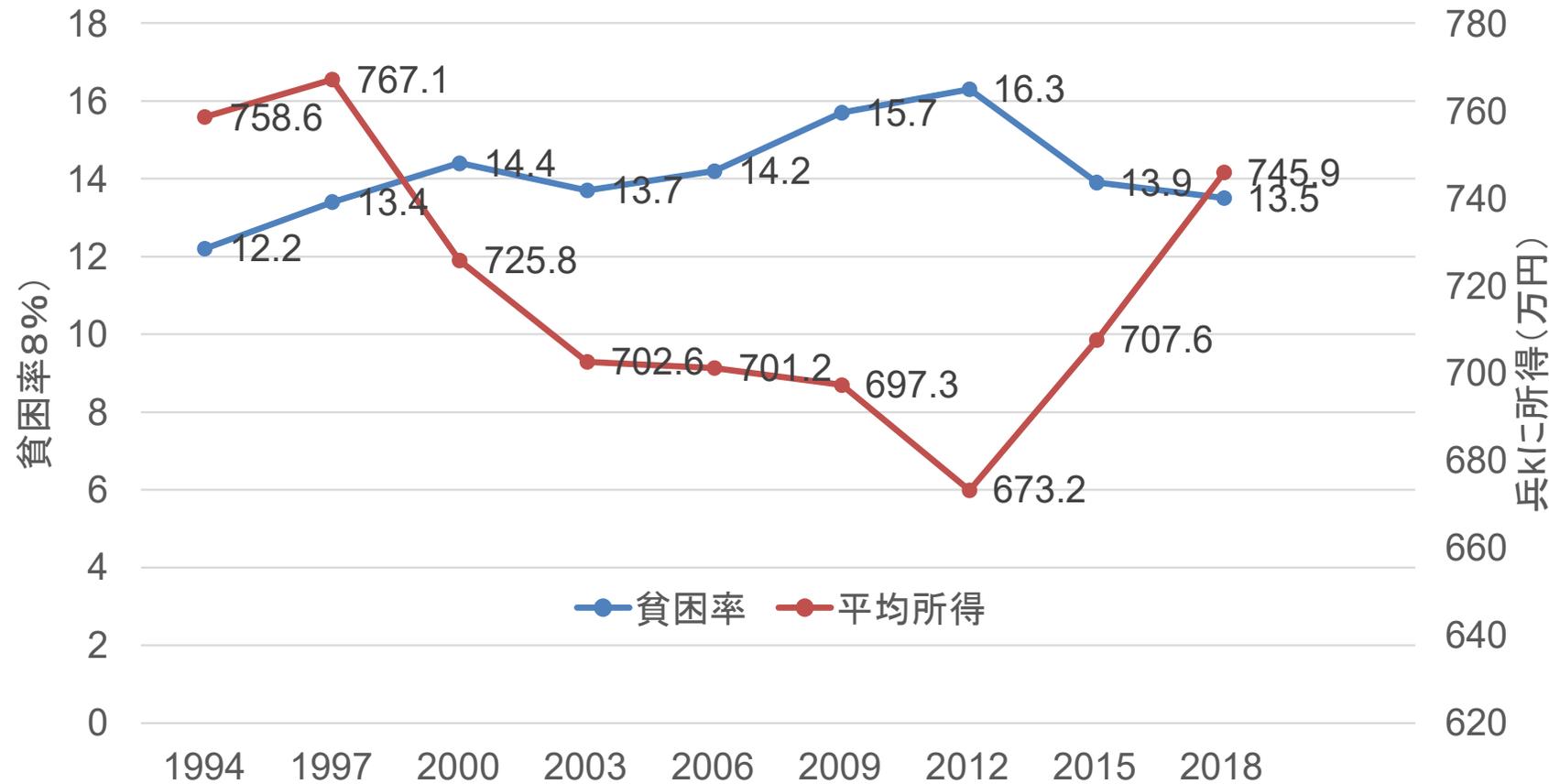
人口推計：H27年国勢調査
在籍児童数：全国児童養護施設協議会
受給率：厚労省保護課



生活困難は「コロナ」で初めて現れた問題ではない。

「平時」における生活困窮

子育て世帯における家計の状況

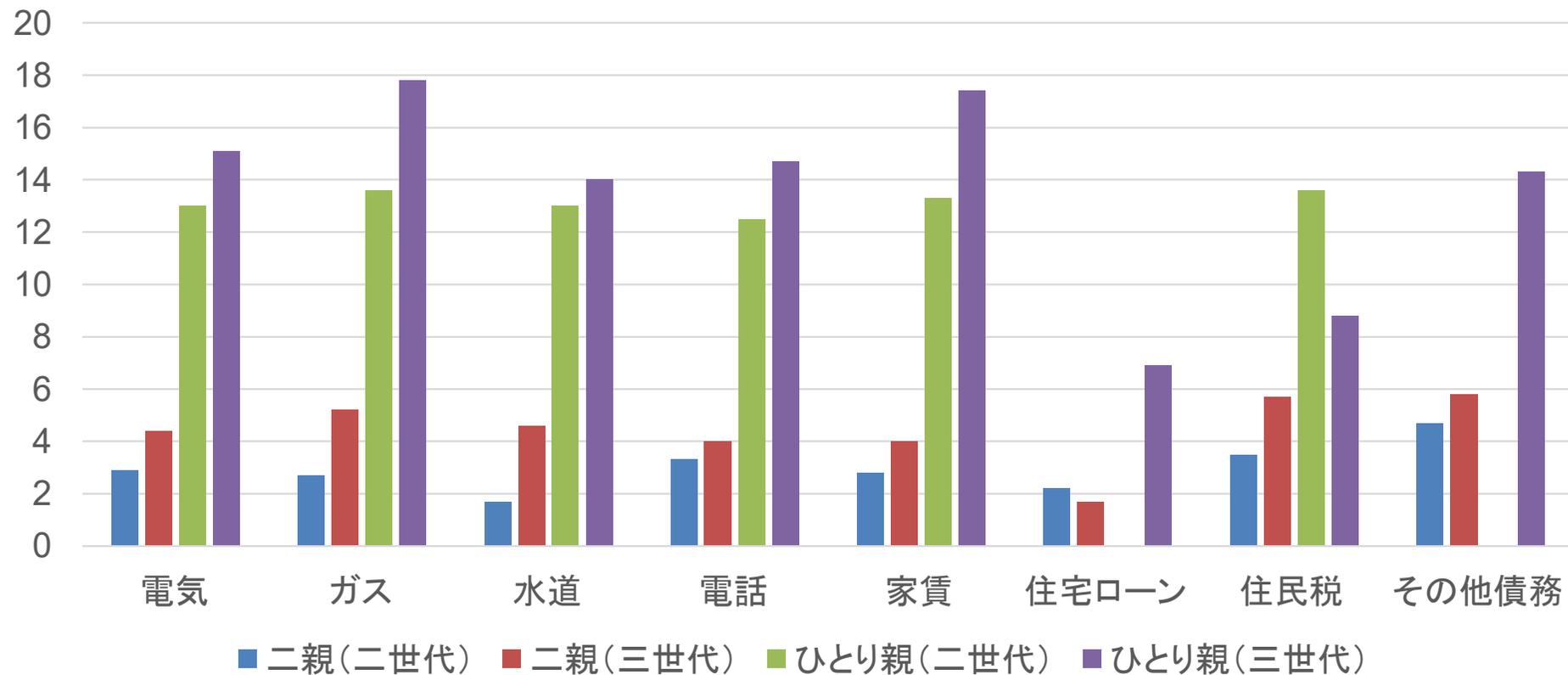


出所：厚生労働省「国民生活基礎調査」

- 2010年代は、子どものいる世帯における平均所得の回復が著しく、貧困率の減少もみられるが、1994年レベルに戻ったわけではない。
- 今後は、景気悪化により、貧困率の2012年レベルまでの上昇が懸念される。

過去1年間に料金の未払い・債務の滞納があった子育て世帯の割合(2017年)

過去1年間で金銭的な理由で滞納があった割合



各県の子どもの生活実態調査の結果

過去1年間の滞納経験	電気	ガス	水道	電話	家賃や住宅ローン
愛知(小1)	4.5%	4.2%	4.2%	4.7%	4.2%
愛知(小5)	5.4%	5.0%	5.3%	5.6%	4.7%
愛知(中2)	6.2%	5.3%	5.3%	6.0%	5.2%
	電気	ガス	水道	電話	家賃
沖縄(小1)	13.5%	13.0%	9.3%	13.1%	11.1%
沖縄(小5)	15.2%	14.8%	10.4%	16.3%	13.8%
沖縄(中2)	13.8%	13.9%	12.3%	16.3%	10.4%
	電気・ガス・水道いずれか				
北海道(小2)	9.6%			6.9%	5.7%
北海道(小5)	9.7%			6.4%	5.6%
北海道(中2)	10.6%			8.1%	6.1%
北海道(高2)	10.1%			8.0%	5.1%
	電気・ガス・水道などの光熱水費				
香川(小1、小5、中2)	8.8%				

出所：各道府県HP

※ 愛知は、県内の市町村立小中学校に通う子供とその保護者対象。学校配布、学校回収または郵送回収。回収率、70.6%。
 香川は、県内の小1、小5、中2を住民基本台帳から抽出(25%抽出率)。郵送配布・回収。回収率52.2%。
 北海道は、札幌市を除く市町村を対象者数3000人を子ども数にて按分。教育委員会を經由し、学校配布・回収。回収率76.0%。

ライフラインの停止経験がある子どもの割合 (大阪府、沖縄県)

過去**半年**の間で、電気・ガス・水道などが止められた

大阪府30市町村(小5)	1.0%
--------------	------

大阪府30市町村(中2)	1.4%
--------------	------

過去**10年間**に、電気・ガス・水道が止められたことがある

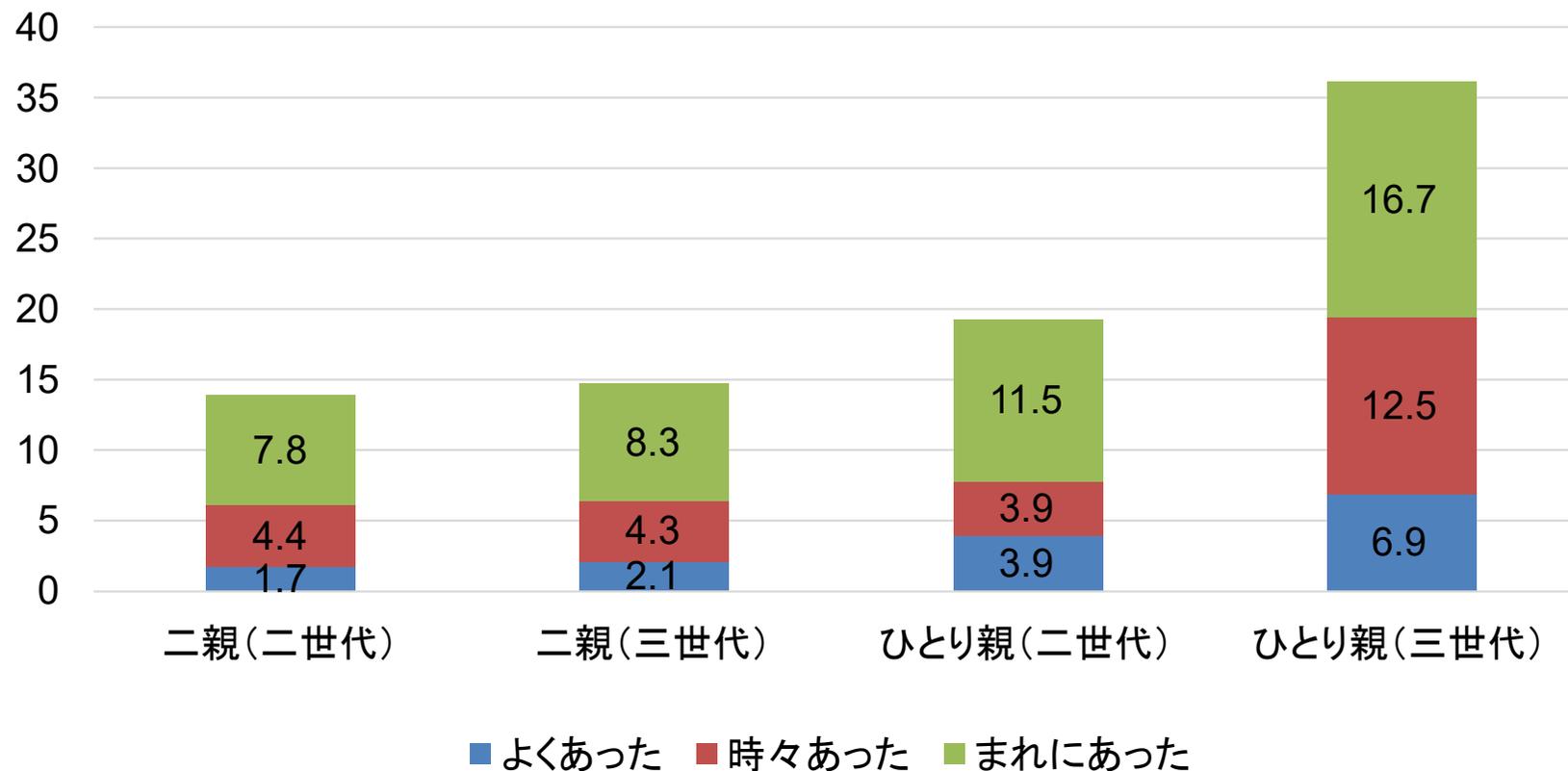
沖縄(小1)	7.7%
--------	------

沖縄(小5)	9.4%
--------	------

沖縄(中2)	8.1%
--------	------

子どもの生活実態：2017年社人研調査

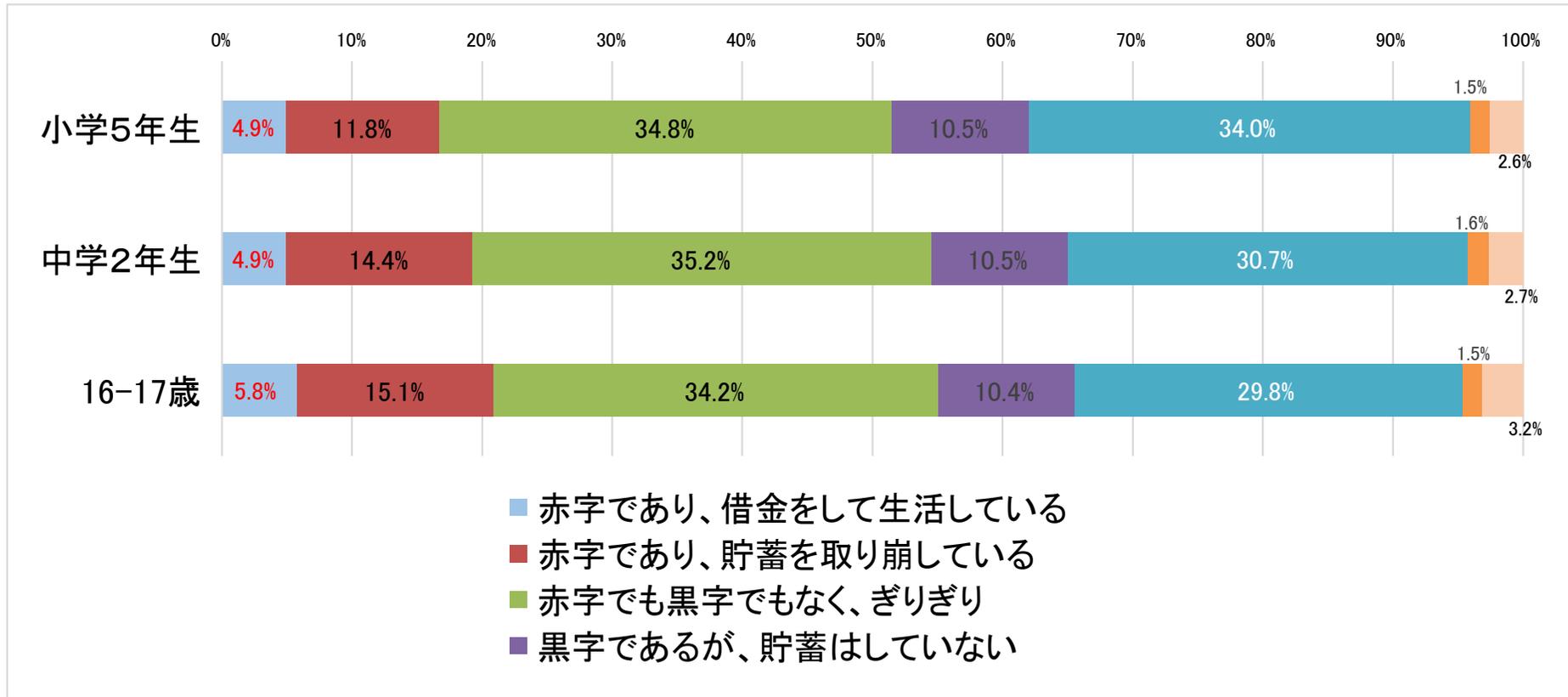
過去1年間で必要な食料が買えなかった経験



- ふたり親でも15%、ひとり親世帯では20%、35%にて食料が買えなかった経験

家計の収支

東京都(2016)「子どもの生活実態調査」

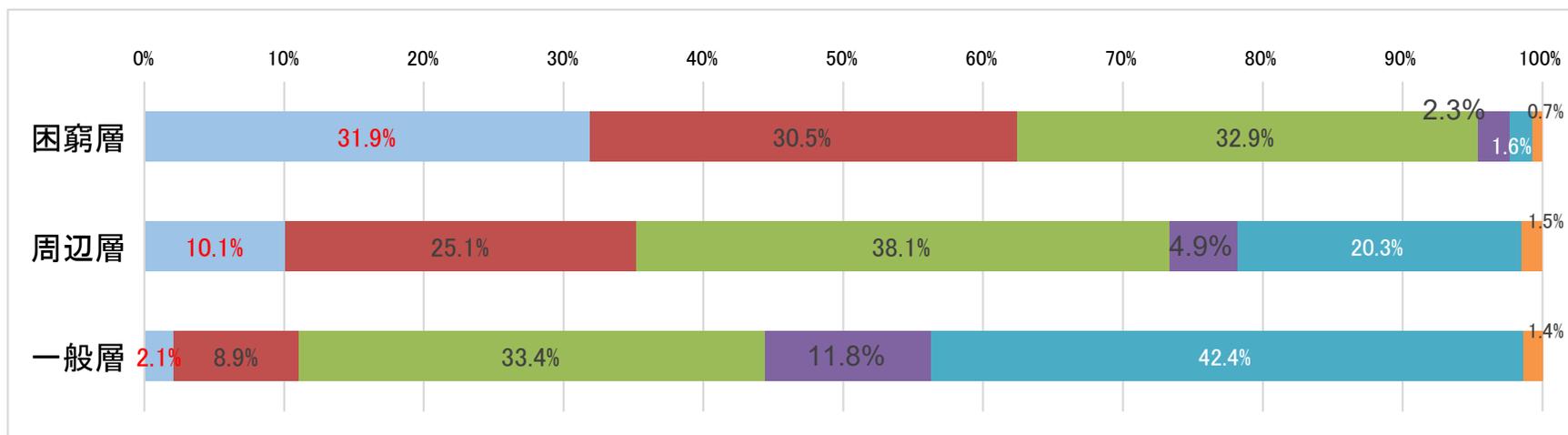


- 赤字(借金)の世帯は、約5%。
- 赤字(貯蓄取り崩し)の世帯は、12~15%。
- 黒字で貯蓄ができている世帯は、30~34%に過ぎない。

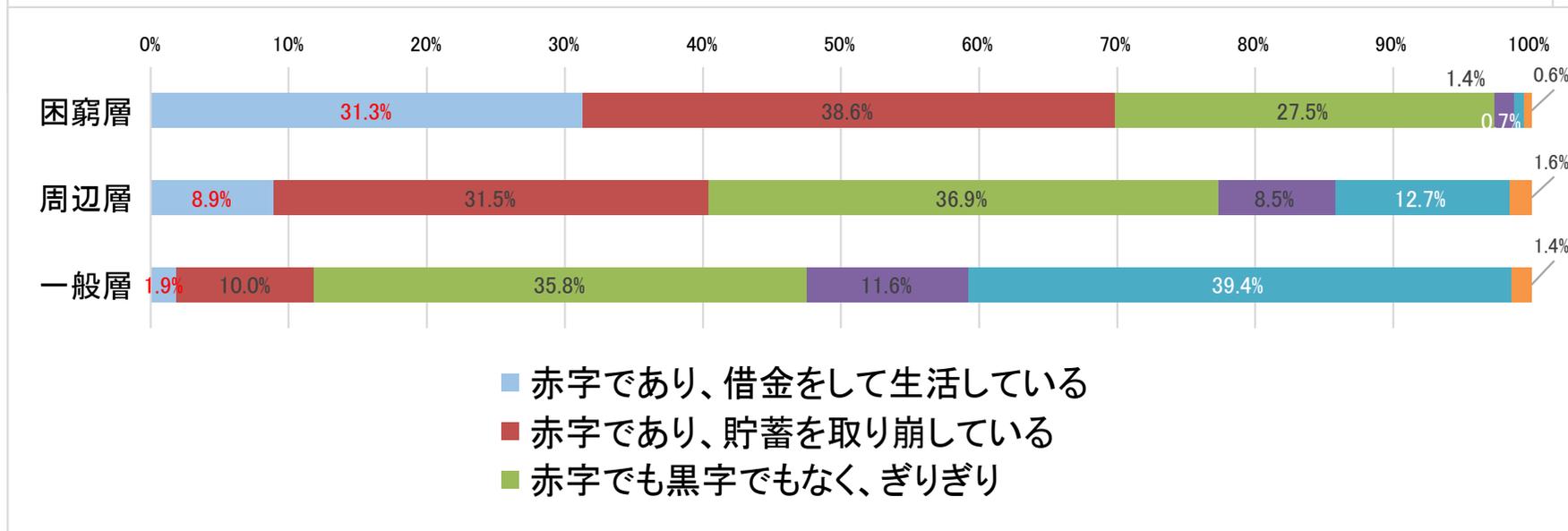
家計の収支：生活困難度別

東京都(2016)「子どもの生活実態調査」

小学5年生



中学2年生

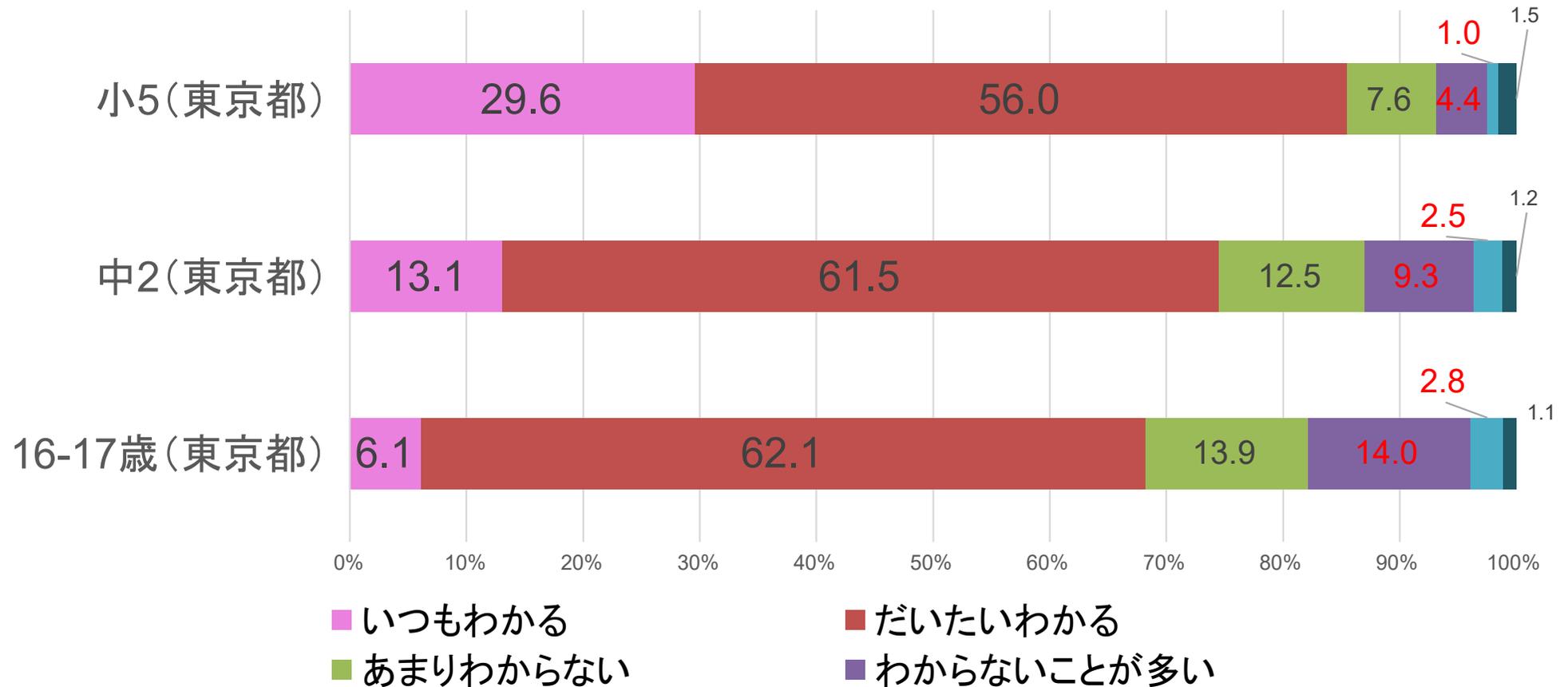


- 生活困窮層では、借金が3割にも上る。



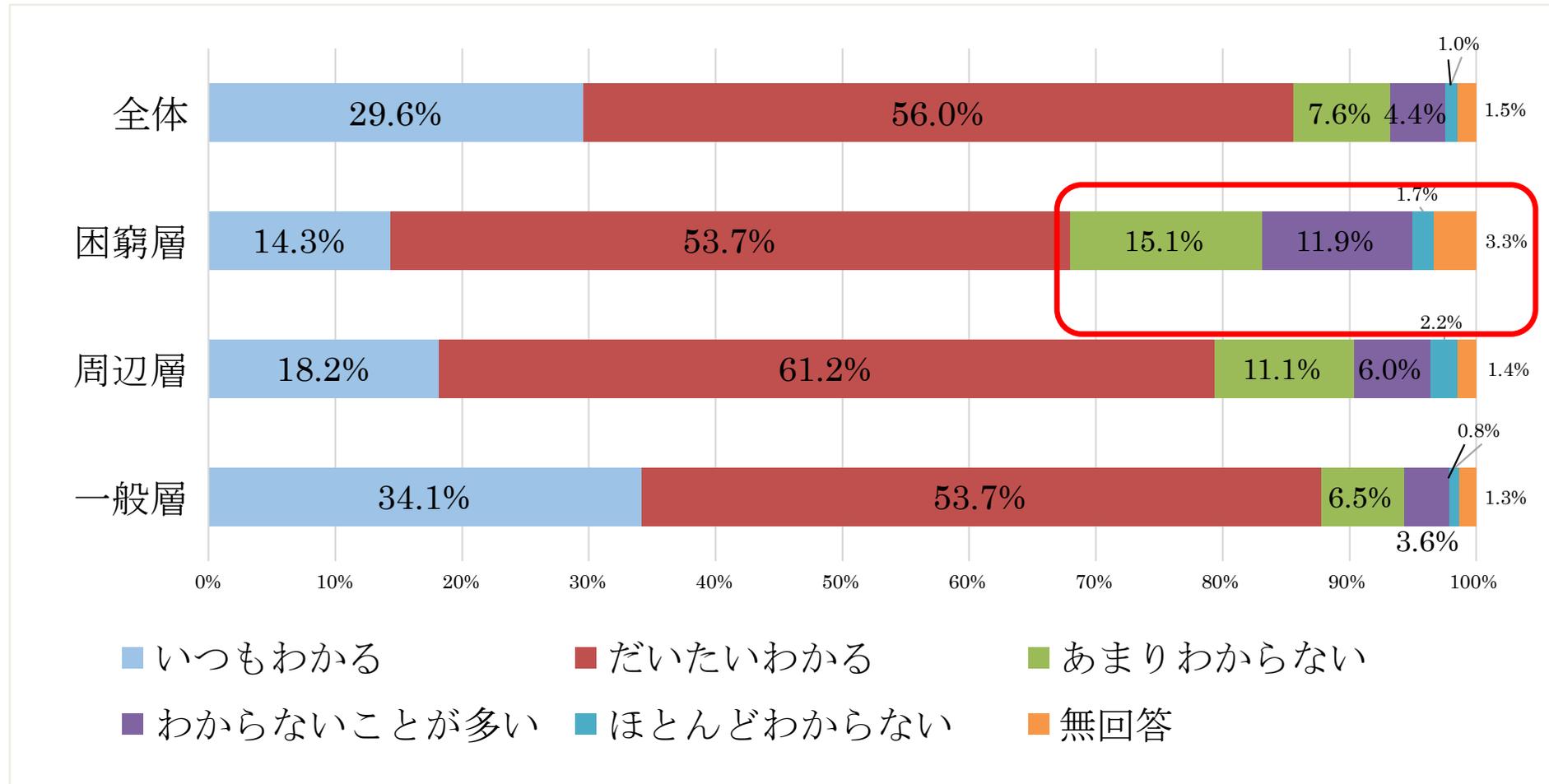
経済的困窮と子どものWELL- BEING

授業の理解度（東京都4自治体） 「あなたは学校の授業がわかりますか」



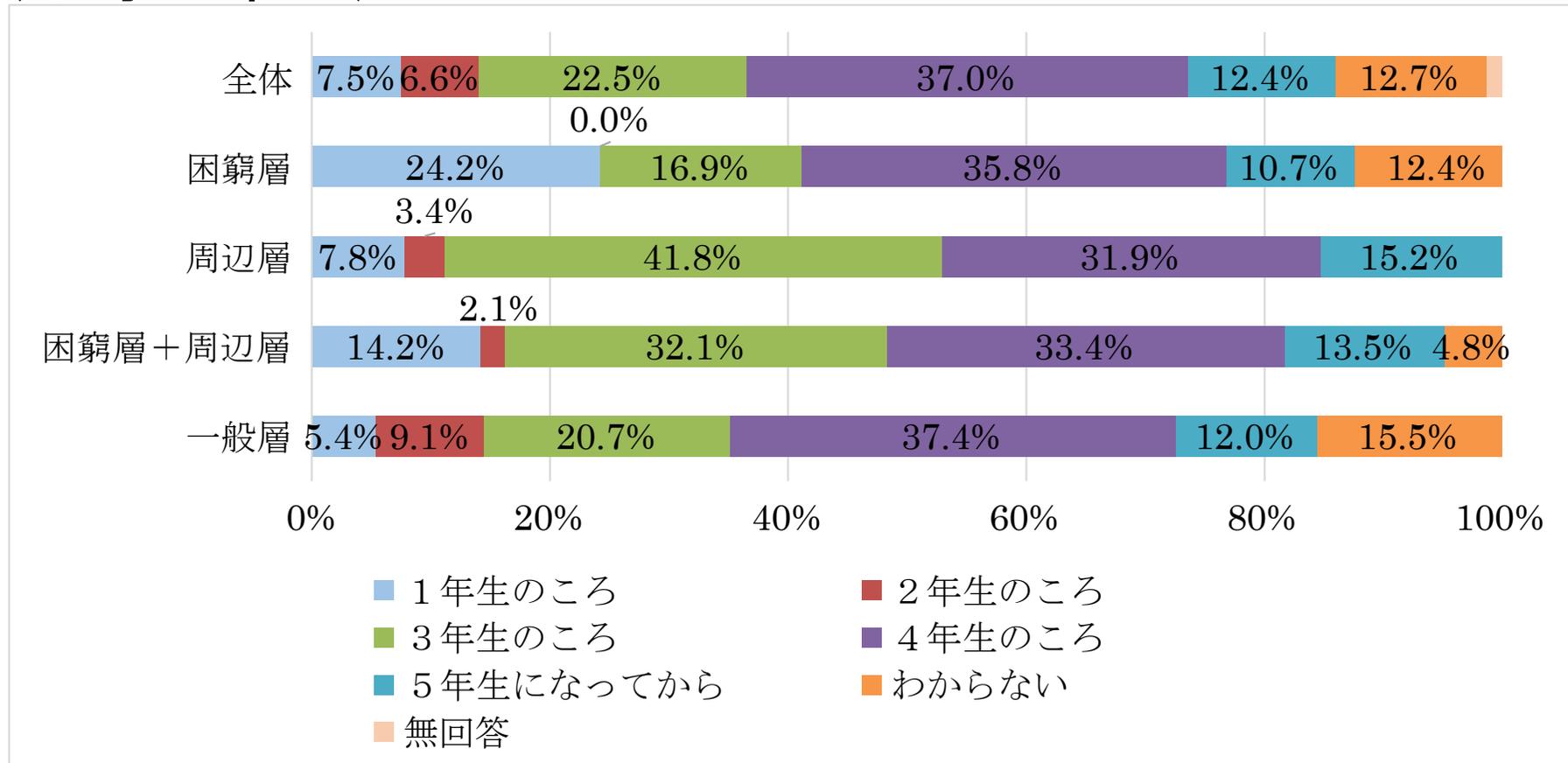
- 小学5年生の13%、中学2年生の24%、16-17歳の30%の子どもが授業を「あまりわからない」「わからないことが多い」「殆どわからない」

授業の理解度(小学5年生)(東京調査)



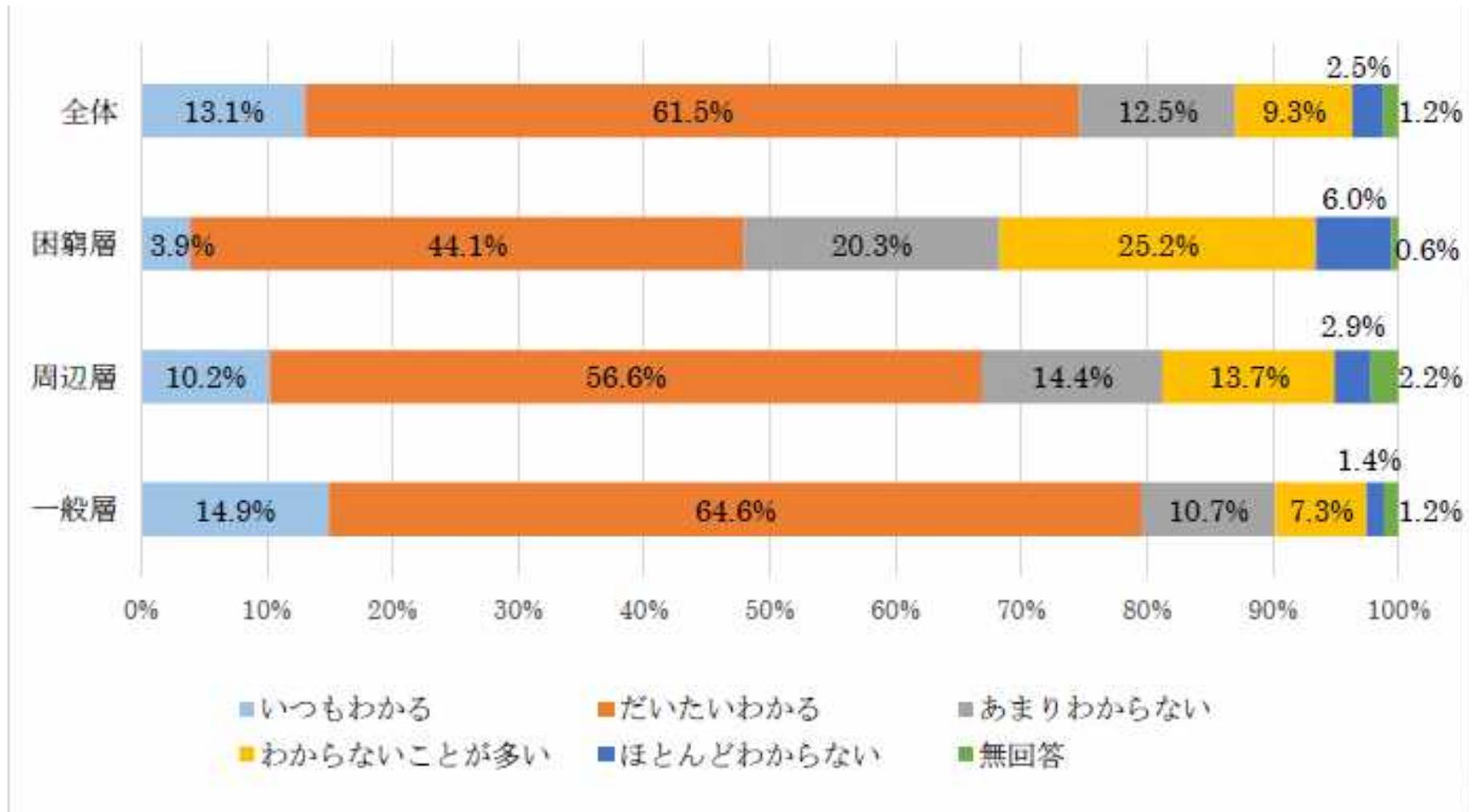
- 困窮層では、3割近くの小学5年生が「授業がわからない」。

授業がわからなくなった時期 (小学5年生)



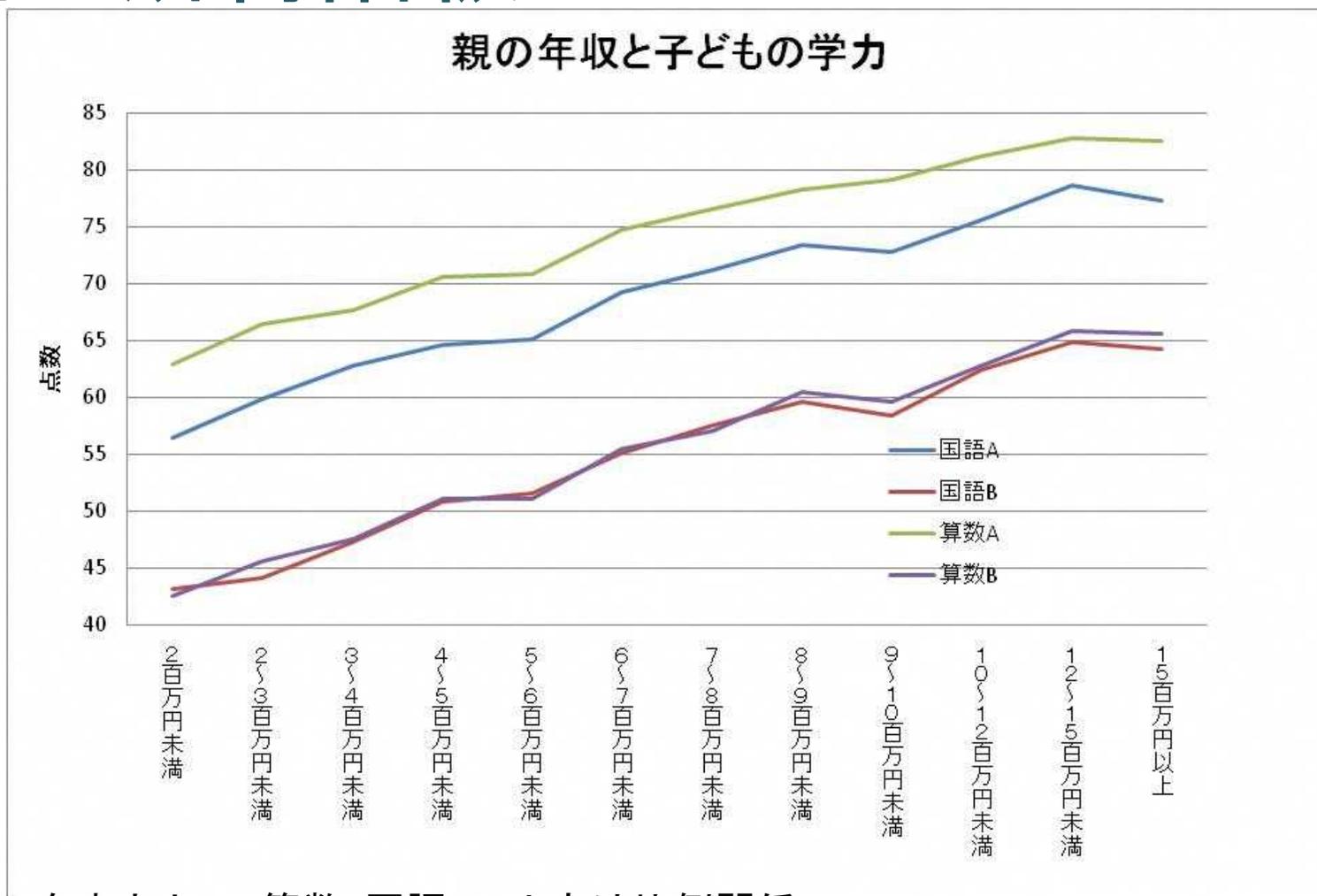
- 授業が「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と回答した子どもを集計
- 困窮・周辺層では、**5割近く**が低学年の頃から授業が「わからない」。

授業の理解度(中学2年生)



- 困窮層では、5割近くが中学の授業が「わからない」。

全国データで見る子どもの学力と親の所得階級

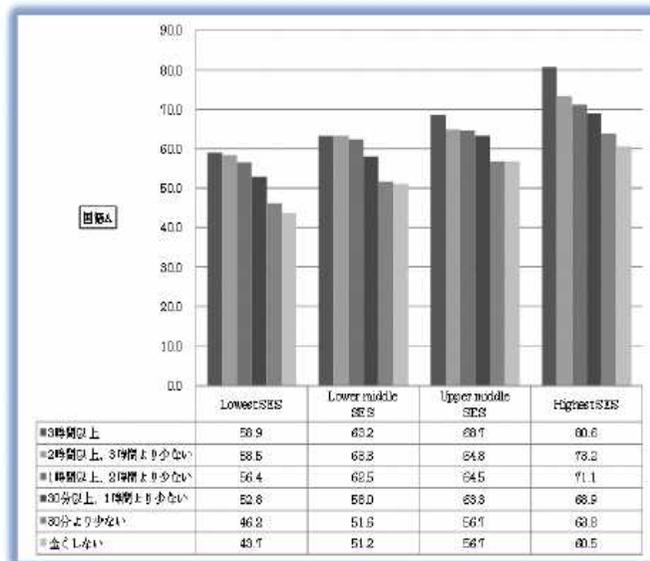


● 保護者の年収と小6の算数・国語テスト点は比例関係

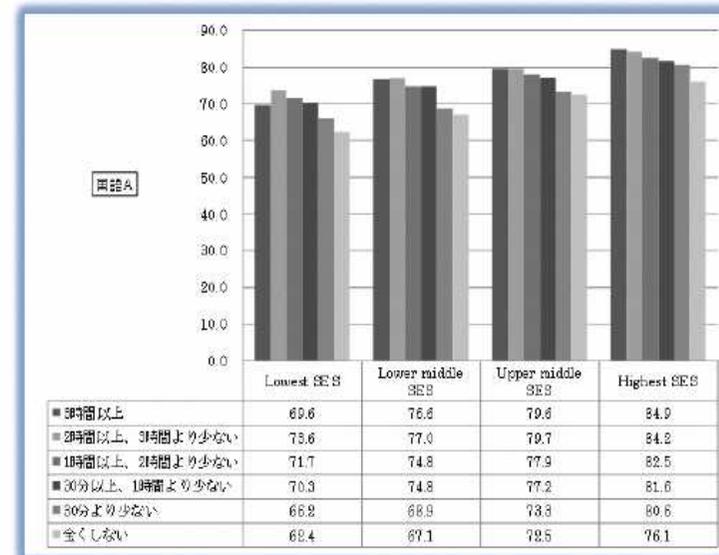
出所: 文科省委託調査—お茶の水女子大学

学力は、努力によって向上するものの、その効果は社会経済的背景の効果を上まることがはない

2 努力(学習時間)と学力(続き)



SES別学習時間と平均正答率(小6、国語A)



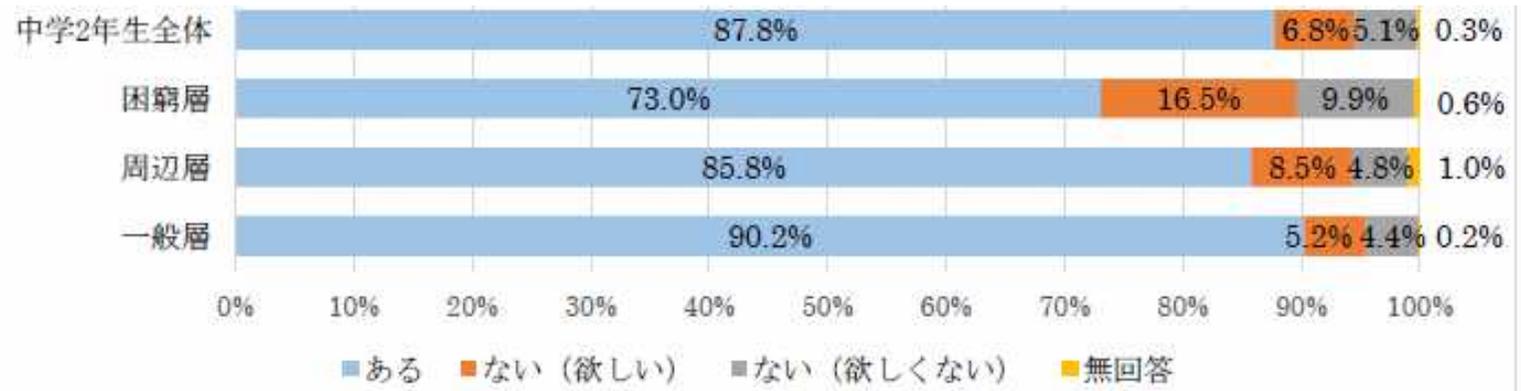
SES別学習時間と平均正答率(中3、国語A)

- しかし学習時間の効果は限定的。社会経済的背景がLowest SESの児童生徒が「3時間以上」勉強して獲得する学力の平均値は、Highest SESで「全く勉強しない」児童生徒の学力の平均値よりも低い →第4章(1) 図表4-1-5~12

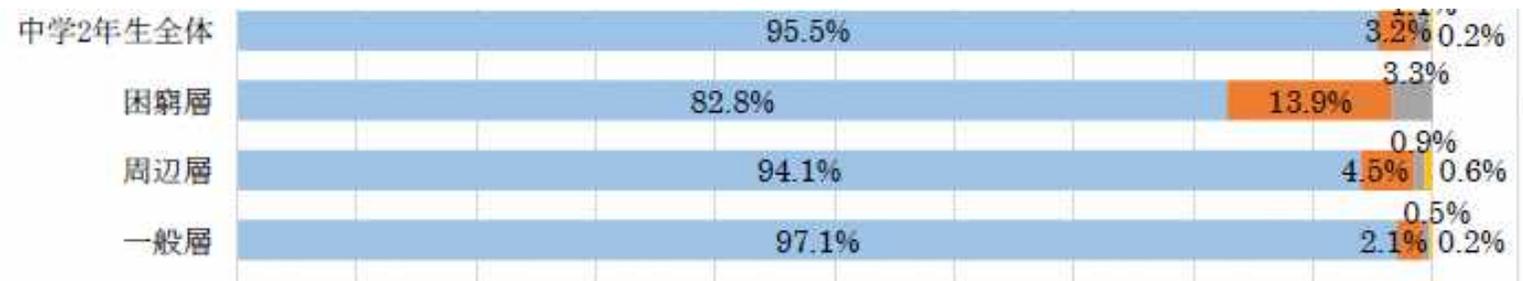
耳塚寛明(2014)「家庭の社会経済的背景と学力格差」子どもの貧困対策に関する検討会 提出資料(2014.5.1.)

自宅における勉強環境の欠如(中学2年生)

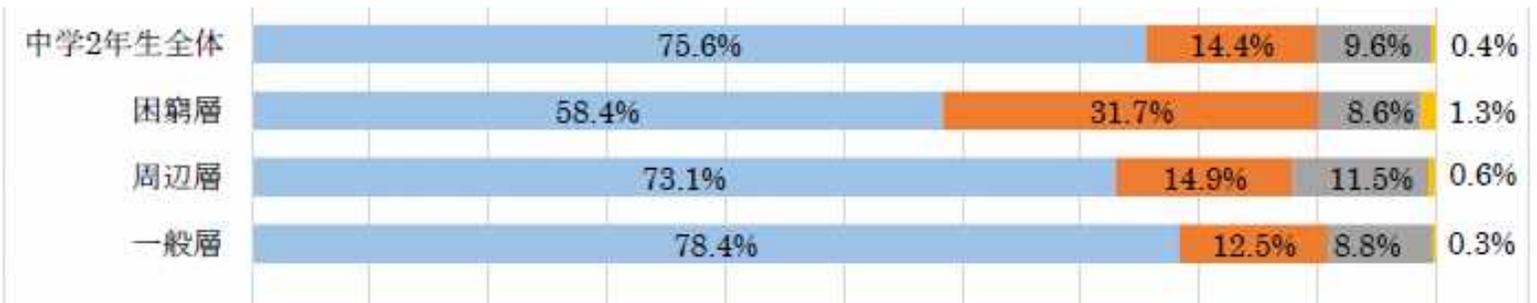
勉強机



自宅で宿題ができる場所

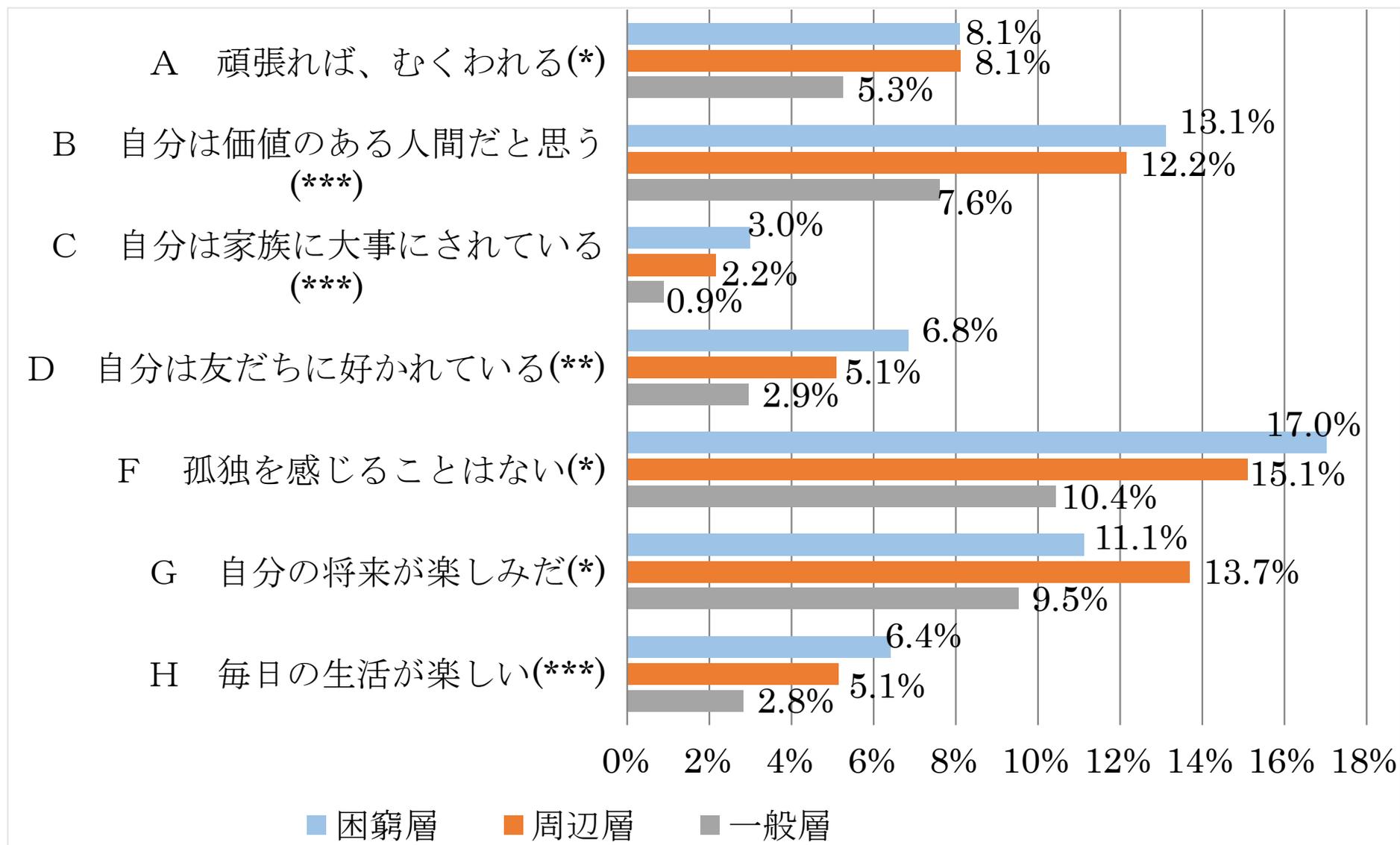


インターネットにつながるパソコン



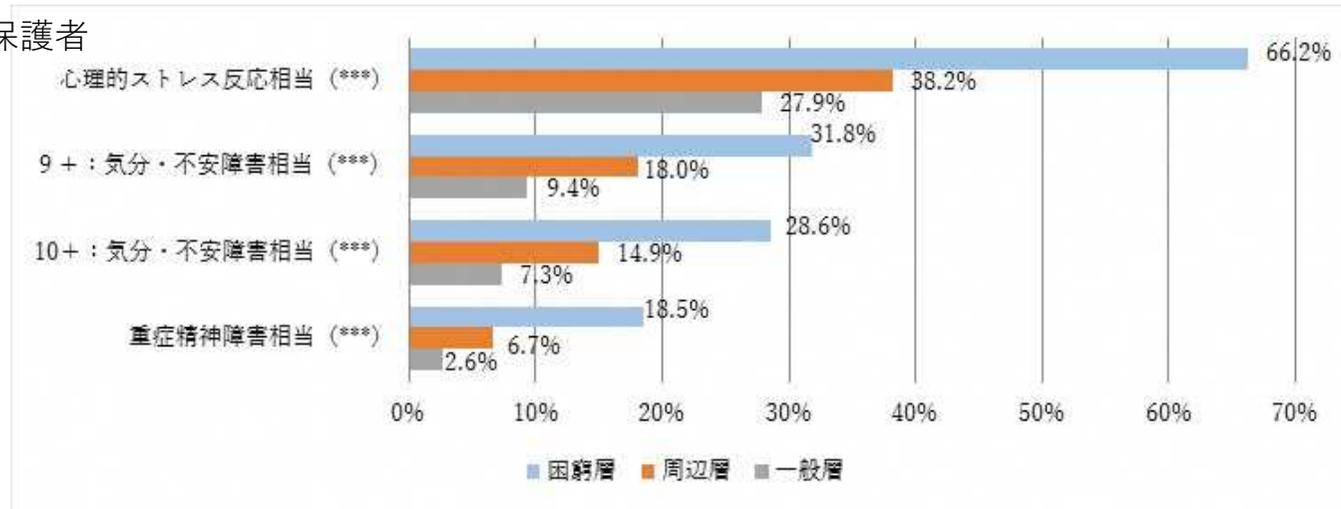
子どもの内面への影響(16-17歳)

以下を「**そう思わない**」と答えた割合

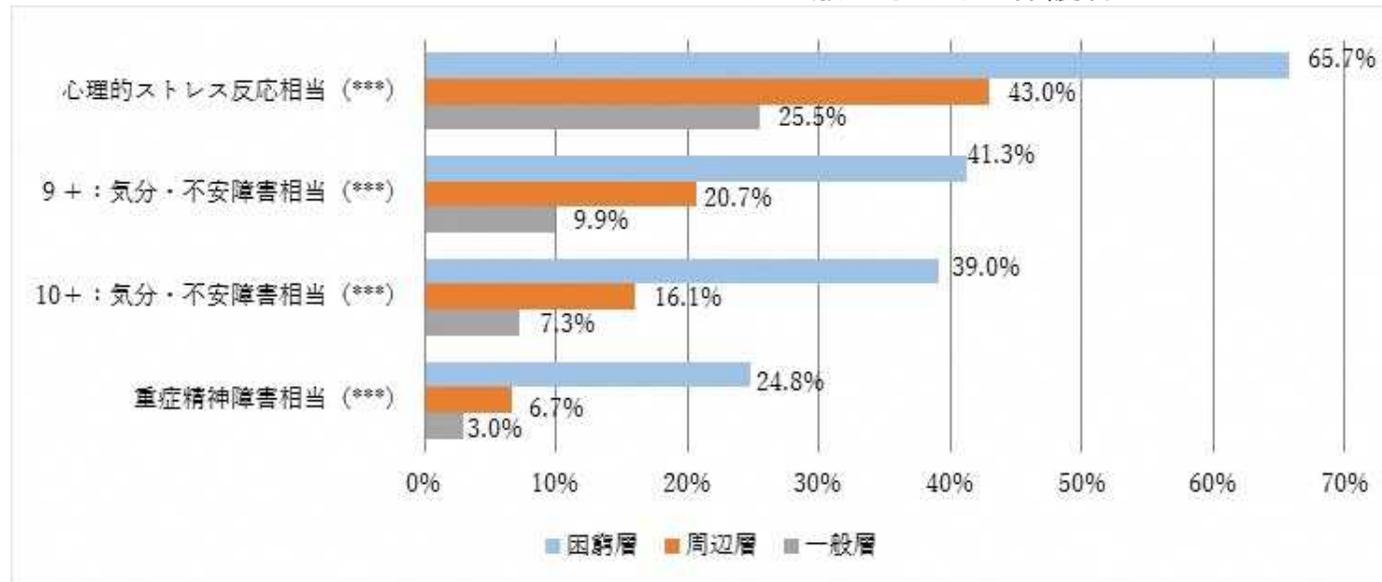


親の抑うつ傾向

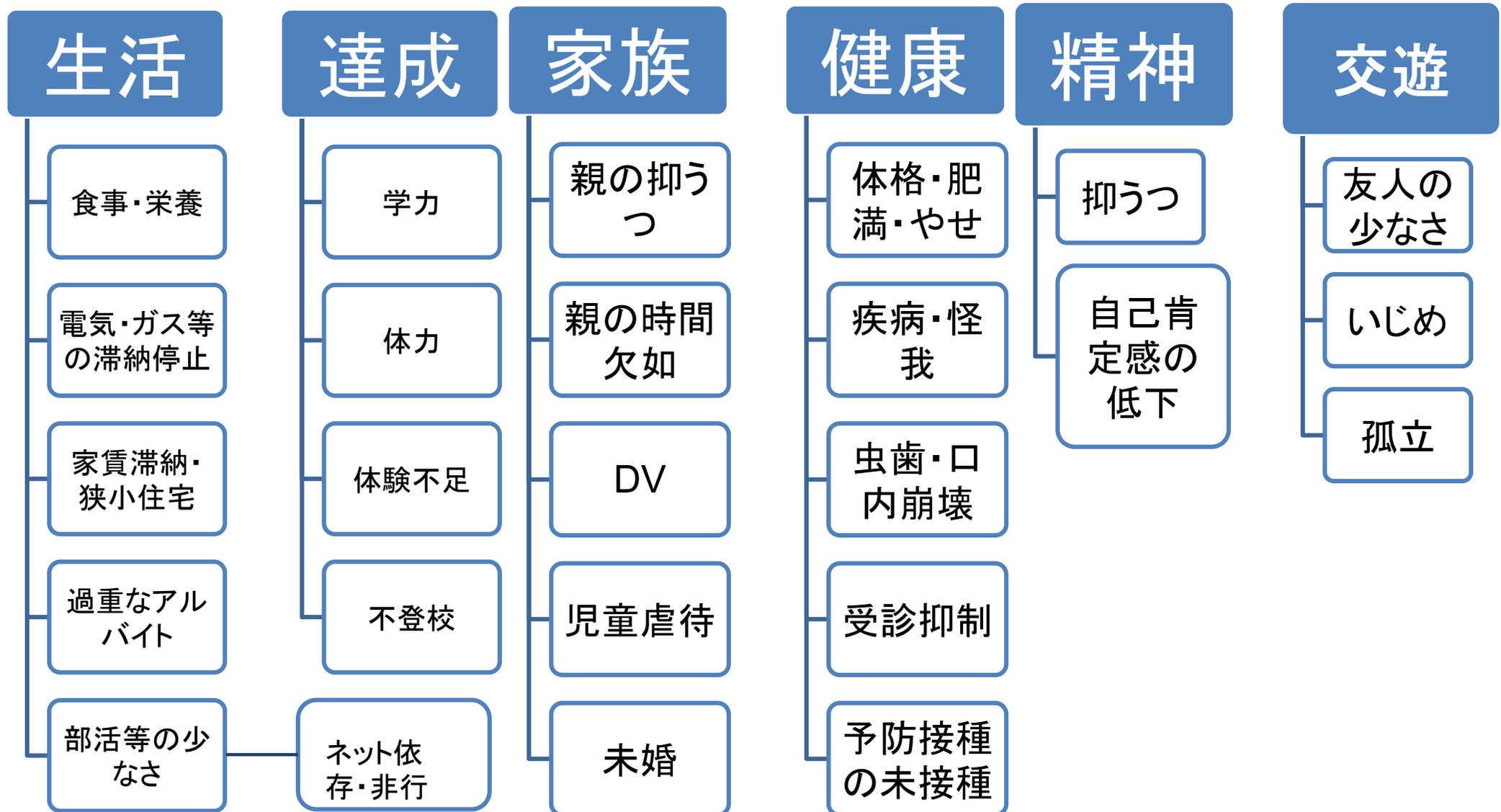
小学5年生の子どもの保護者



16-17歳の子どもの保護者



(日本のデータにおいて) 相対的貧困と関連が立証されているもの



「貧困」とは何か？

貧困はリスク

- 「貧困」である子どもすべてに様々な問題があるわけでもなく、問題がある子どもすべてが「貧困」であるわけではない。（タバコのイメージ）
- 「貧困」が深ければ深いほど、様々な問題が累積していることが多い ⇒ 児童福祉の現場においては、このようなケースばかりが目立つ
- → 貧困の現場であればあるほど「貧困」以外の問題がめだつようになるという矛盾
- → 「貧困対策」と「貧困（以外の問題も抱えた最も厳しい状況に置かれている）子どもに対する支援」とは必ずしも一緒ではない。

【問い合わせ】

東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 社会福祉学教室

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 5号館255号室

阿部彩研究室 Tel: 042-677-2126

E-mail : abeken@tmu.ac.jp

子ども・若者貧困研究センター 5号館541号室

Tel: 042-677-2065